令和5年度 第2回伊勢市子ども読書活動推進会議 兼 第2回伊勢市子ども読書活動推進連絡会議

開催場所 小俣公民館2階 学習室

【推進会議】 出席 8名(山本、藤村、鬼藤、岡野、西澤、青木、中井、竜田)

欠席 2名(下田、伊東)

【連絡会議】 出席 8名(福井、大西、山本実、北村、森山、堀本、舘、田畑)

欠席 2名(堀口、山本昌、)

【事務局】 3名(沖塚、岡、小仲)

【傍 聴 人】 なし

配布資料 別添のとおり

会議内容

1 あいさつ(沖塚参事兼社会教育課長)

出席御礼。第4次伊勢市子ども読書活動推進計画の1年目も終了しようとしている。

「子ども読書活性化担当者打合せ会」及び「準備会」において、岡野先生にはアドバイザーと してご指導をいただき感謝申し上げる。

本日は、来年度から取り組みを行う「子ども読書活動の活性化」についても、より具体的な考え方を説明できると考える。

推進会議及び連絡会議とも情報共有を図りながら具体的な取り組みをしてまいりたい。

2 会長、副会長の選任について

会長に岡野委員、副会長に鬼藤委員が選出された。 その後、新委員もいるため出席者全員から自己紹介があった。

3 議事

議長は会長が就任した。

|(1)第4次子ども読書活動推進計画に係る取り組み実績作成の考え方について|

事務局 小仲職員より説明

【質疑及び意見交換】

・特に、質疑及び意見はなかった。

(2)子ども読書活動推進アンケートの結果について

事務局 小仲職員より資料に基づき説明

【資料】

- ・「令和5年度子ども読書活動推進アンケート調査から」
- 「アンケート調査における経年比較表作成について」
- ·A4横1枚「R5 伊勢市電子図書館閲覧数【児童·生徒(学年別)】」

【質疑及び意見交換】

- ・【山本委員】電子書籍は青い鳥文庫が多かった。今度は増えるのか。
- →300冊から1000冊に増える。

新書や絵本も増える。

- ・【竜田委員】高学年になるほど、少なくなっているが原因は検証しているのか。 保護者に対しての調査はしているのか。
- →高学年の部分については忙しい等の意見がある。
 - 保護者に対しての調査は行っていない。
- ・【田畑委員】 年齢によって読む内容、文章量によって一概には冊数に特化すべきではないと思う。 読書を行った日数を指標にするのも一つの方法だと考える。
- →参考にさせていただく

(3)子ども読書活動の活性化その後の経過等について

事務局 小仲職員より資料に基づき説明

【資料】

- ・ホッチキス止めの「子ども読書活動の活性化について」
- ・カラー刷り「読書センターにとどまらない学校図書館の真のあり方を全国に向けて発信」

【質疑及び意見交換】

- ・【竜田委員】予算資料の右下、白抜きの内容について説明をしてほしい。
- →公共図書館だけでなく、学校図書館や学校サイドにおいても課題に気づくところから始める ことが重要だという点を示したもの。
- ・【沖塚参事】専門員は、今後、本会議についても担当し進行にも関わってもらう。公共図書館と学校図書館との連携はこれまでなかったので、そこからスタートするもの。
- 【岡野会長】非予算化事業というのはどのように実施するのか。
- →指定管理の中で実施する。具体的な内容については、指定管理者との協議を行い、事業を実施していく。
- ・【岡野会長】計画の目標年次に留意しつつ、次期計画も意識されたい。上位計画との整合性をとるように。
- →推進会議の皆さんの協力をお願いしたい。
- ・【沖塚参事】読書に関しての目標数値について、令和6年度当初予算の審議において、質問を いただいた。

田畑委員のご意見のように、単なる本の冊数だけでない形で今後、検討したい。

・【竜田委員】KPI をしっかり持って、仮説を立てながら進めると思う。 定量的な目標に加えて定性的な目標も必要と思う。

4 その他

- ・【鬼藤委員】県の「読もうネット」の動きにも連携いただきたい。
- → (田畑委員) 現在、研修も含めて情報共有を行っている。

以上